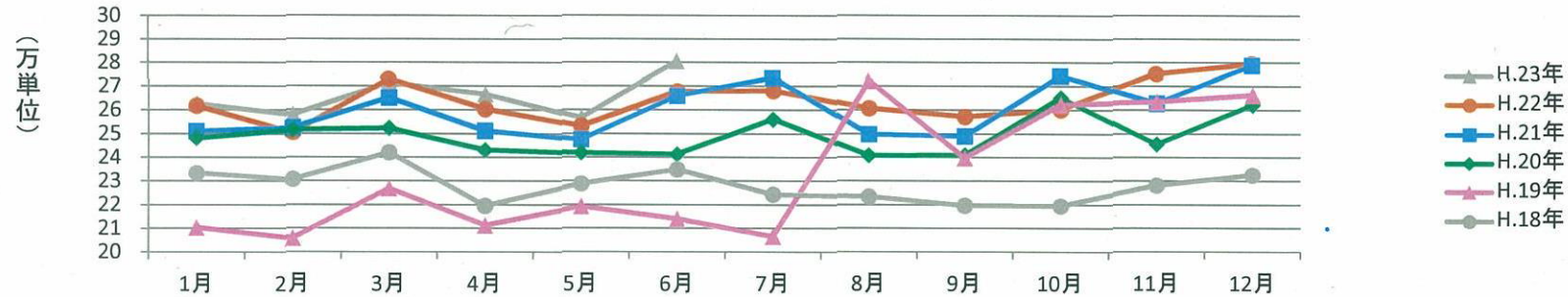


図1 月ごとのFFP供給量(単位) 平成18年1月～平成23年6月



平成18年1月から平成23年6月までの、新鮮凍結血漿(FFP)の月ごとの供給量(単位)を「図1」に示した。  
 平成19年1月16日採血分の全血から、保存前白血球除去を実施して、容量がそれまでの新鮮凍結血漿の1.5倍になった新鮮凍結血漿-LR (FFP-LR)を製造し、6カ月間の貯留保管を行って、平成19年8月から供給が開始された。  
 平成19年の供給量は、7月まで平成18年同月を下回っているが、8月から大きく増加して、平成19年8月は、次年以降の同月を上回っている。  
 平成19年9月以降の供給量は、おおむね前年同月を上回り、年次供給量は前年を上回っている。

図2 FFPの供給本数(平成18年～平成22年)

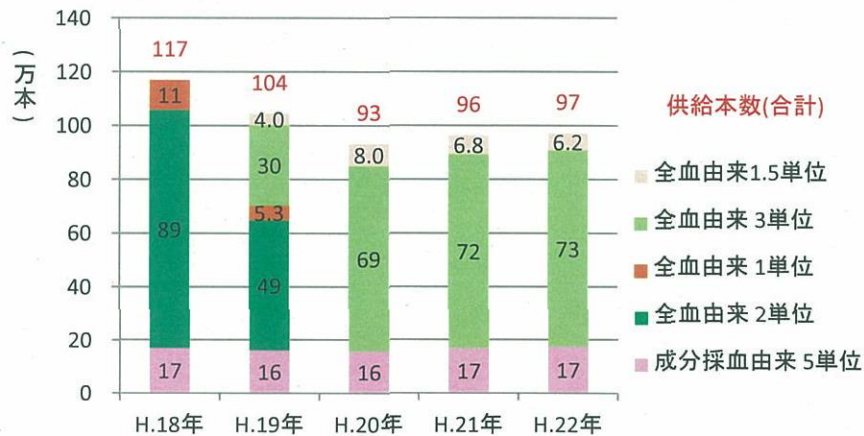
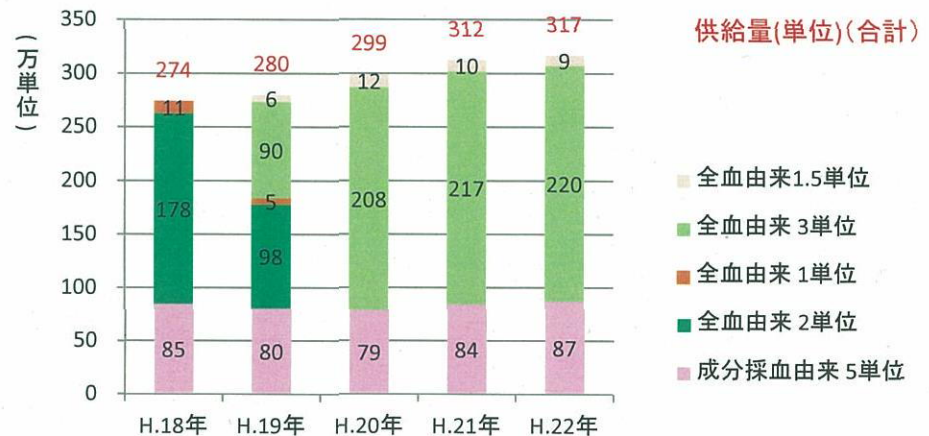


図3 FFPの供給量(単位)(平成18年～平成22年)



FFPの平成18年から平成22年までの、年次供給本数を「図2」、供給量(単位)を「図3」に示した。  
 年次供給量(単位)は、平成8年から平成18年まで、前年供給量からの減少が続いていたが、平成19年以降は増加している。  
 年次供給本数は、FFP-LRの供給及び切替えにより、平成19年、平成20年では減少し、平成21以降は増加している。